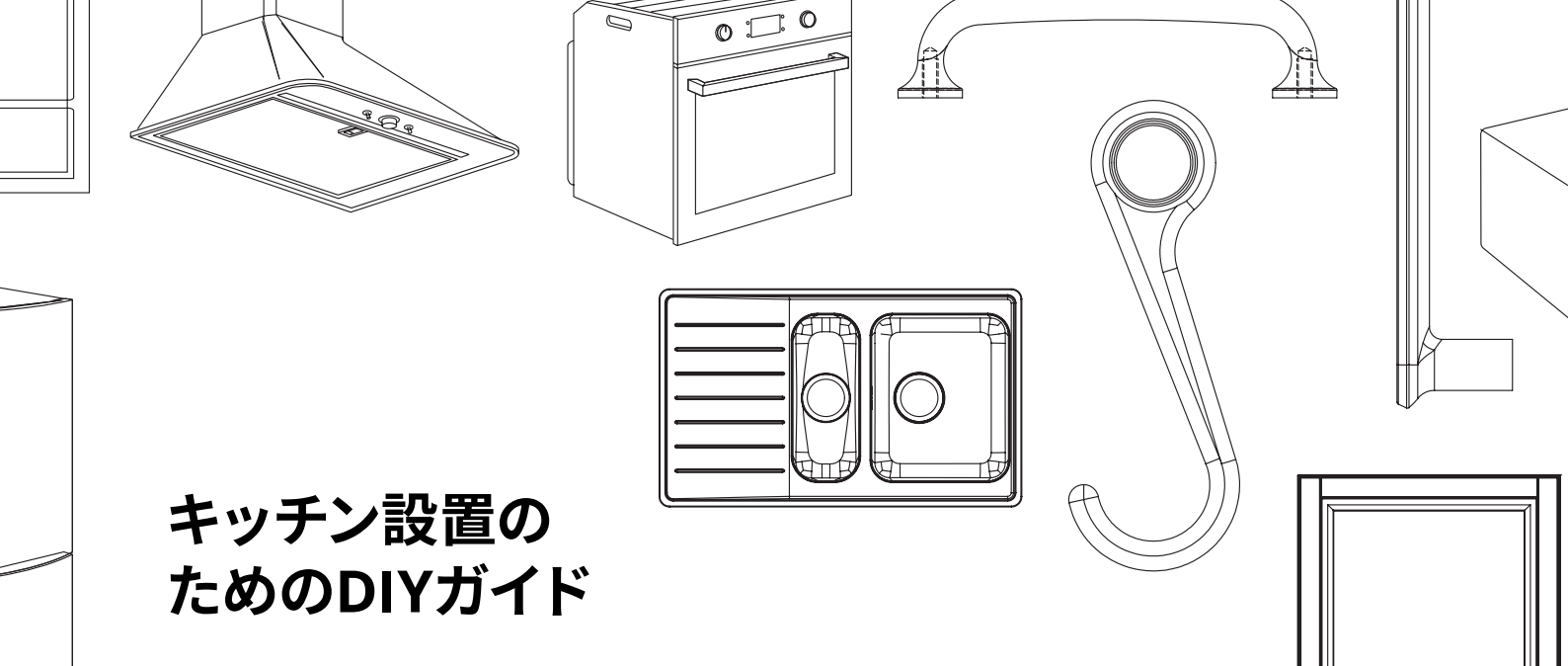
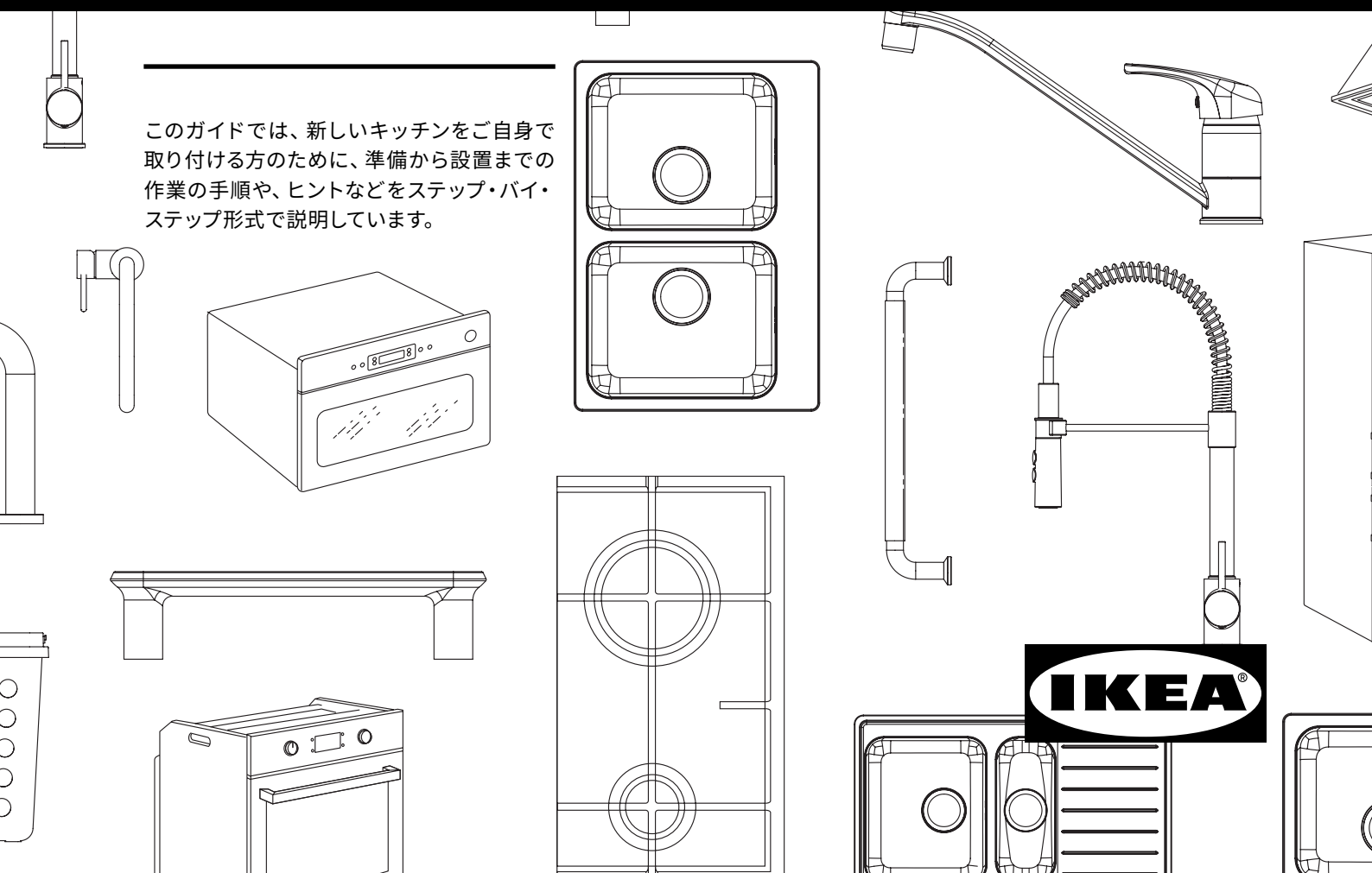




キッチン設置の ためのDIYガイド

INSTALLATION GUIDE



このガイドでは、新しいキッチンをご自身で
取り付けの方のために、準備から設置までの
作業の手順や、ヒントなどをステップ・バイ・
ステップ形式で説明しています。



新しいキッチンを正しく設置するための ステップ・バイ・ステップガイド

このガイドでは、ご自身で新しいキッチンの準備と設置をする方のために、ヒントやアイデア、作業の手順、必要な道具などを説明しています。このガイドと製品に付属の組み立て説明書、ご注文の際、お渡しする「METHOD/メトードキッチン 施工について」を見ながら、キッチンを正しく設置しましょう。

理想のキッチンを実現するイケアの便利なサービス

IKEA キッチンをご自身で組み立て・設置がしやすいデザインになっていますが、イケアではキッチンの設置をお手伝いする各種のサービスもご用意しています。配送サービスやキッチン施工サービスなど、さまざまなサービスの中から、お客さまに合ったサービスをご提案します。詳しくは、イケアストアのキッチンエリアでセールススタッフにお問い合わせください。

作業を始める前に

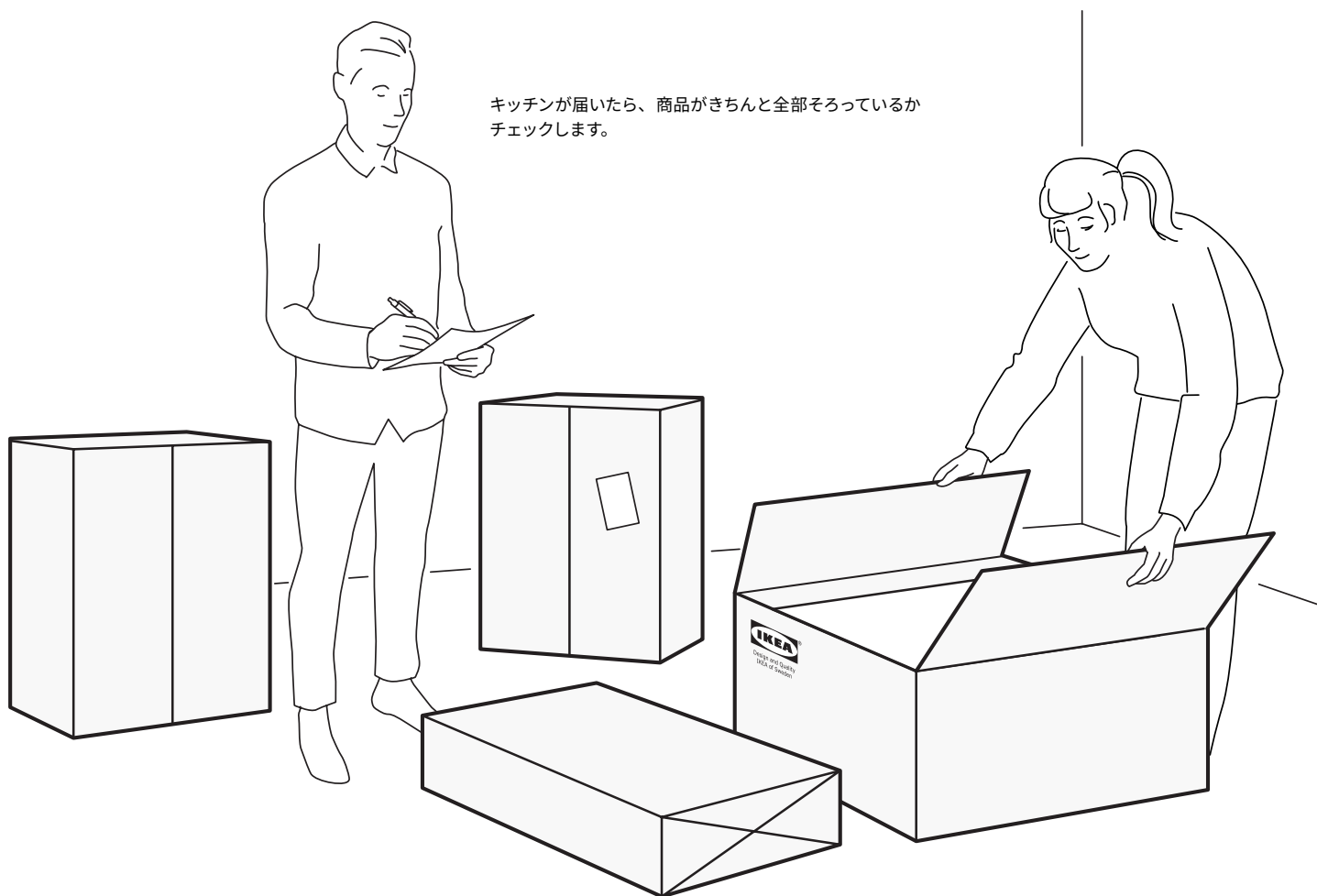
このガイドに目を通して、新しいキッチンの設置作業の流れを把握し、必要な道具を用意しましょう。

キッチンが届いたら、パーツが全部そろっているかダブルチェックします。届いたパッケージを注文リストに照らしてチェックするのがおすすめです。必ず新しいパーツと設備機器が全部そろってから、古いキッチンを撤去してください。

キッチンのパーツとワークトップは、通常の室温と湿度で室内に保管してください。キャビネットは設置する順番に並べておくと、作業がしやすくなります。パッキングリストとIKEA Home Planner のデザインを参考にしましょう。

古いキッチンを撤去する前に、電気・水道・ガスを必ず止めてください。電気・水道・ガス関係の取り外し・取り付けは、資格をもつ専門業者に依頼してください。

キッチンが届いたら、商品がきちんと全部そろっているか
チェックします。

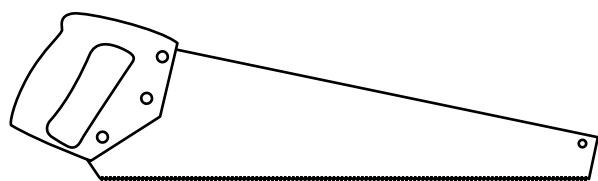


必要な道具

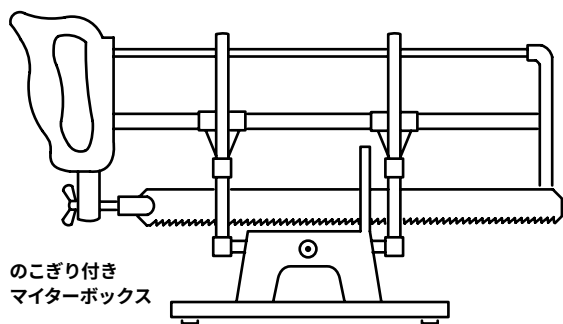
必要な道具は、キッチンをどの程度まで自分で設置するかによって異なります。製品に付属の組み立て説明書を見て、どの道具が必要か確認しましょう。電動工具を使うときは保護メガネをかけることをおすすめします。

お役立ち情報

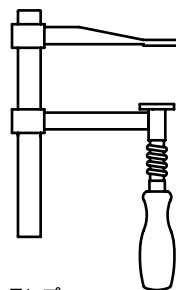
石膏ボード、木材、コンクリートなど、壁材にはさまざまなタイプがあるため、キャビネットに壁固定用のネジは付属していません。金具の専門店やホームセンターには各種の建材用のネジがそろっています。ご自宅の壁に合った適切なネジをお選びください。



目の細かい手ノコ



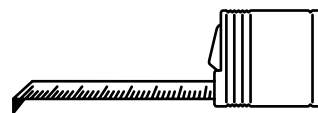
のこぎり付き
マイターボックス



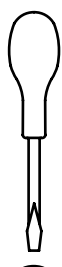
G クランプ



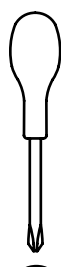
水準器・水平器



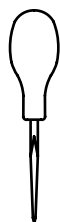
巻尺



マイナス
ドライバー



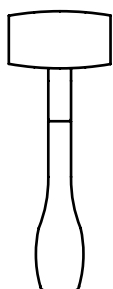
プラス
ドライバー



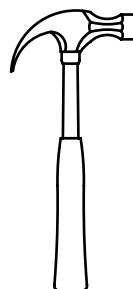
千枚通し



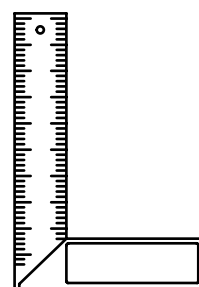
鉛筆



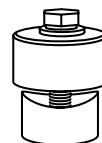
ゴムハンマー



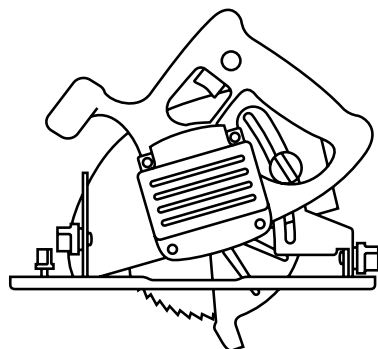
ハンマー



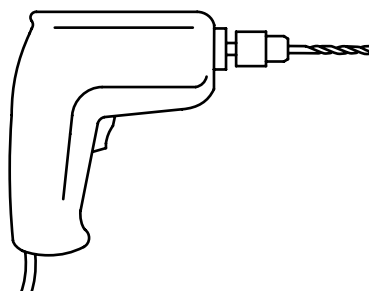
直角定規



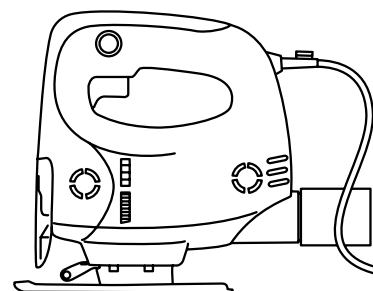
ホールソー：
蛇口を取り付けるための
穴あけ用



電動丸ノコ（金属をカットする場合は
金属用ノコ刃が必要）



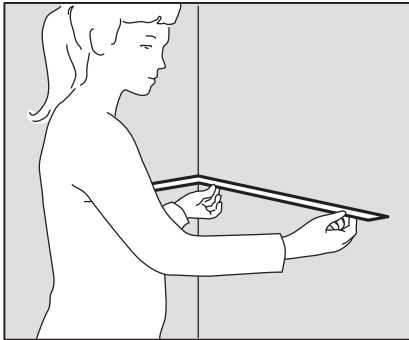
電動ドライバー／ドリル



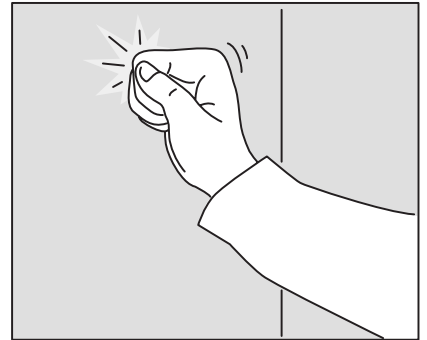
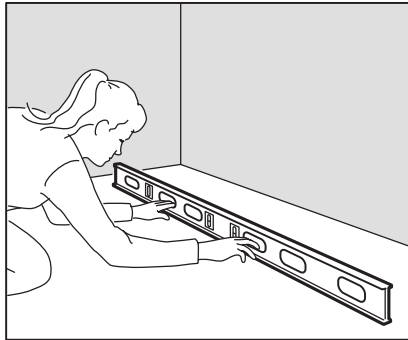
ジグソー

室内の下準備をする

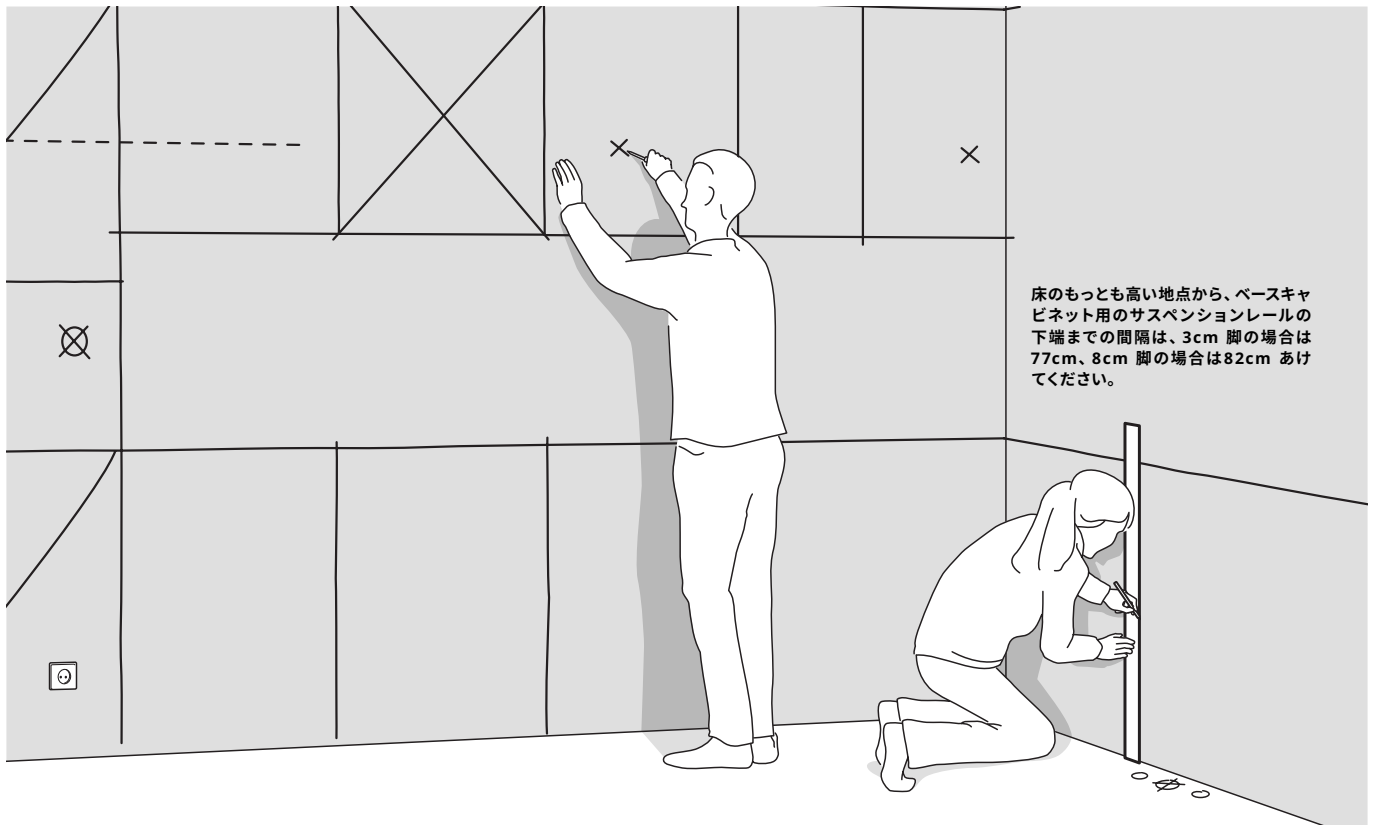
古いキッチンを撤去したら、室内の下準備として、壁と床が平らなこと、壁の強度が新しいキッチンを支えるのに十分なことを確認します。壁の下塗りと塗装、タイル張りや床材の張り替えなどは、この段階で行います。



設置スペースの下準備として、コーナー部分が平らなこと、壁と床がまっすぐなことを確認します。コーナー部分は直角定規で、壁と床は水準器でチェックします。床のもっとも高い地点、コーナー部分で直角でない場所には、必ず印をつけてください。



壁の強度がサスペンションレールとキャビネットの設置に十分に耐えることを確認します。壁の素材にもよりますが、サスペンションレールは間柱か支持梁の上に設置するのが最適です。電子式の下地センサーがあると便利です。



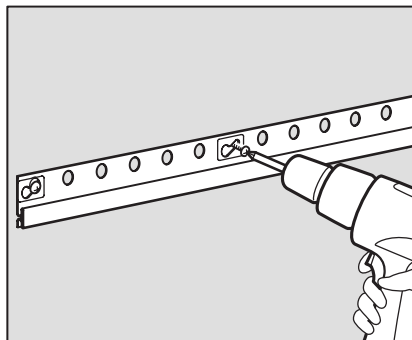
床のもっとも高い地点から、ベースキャビネット用のサスペンションレールの下端までの間隔は、3cm 脚の場合は77cm、8cm 脚の場合は82cm 教えてください。

配管が必要な場所にあり、レイアウトプランと一致していることを、ダブルチェックします。

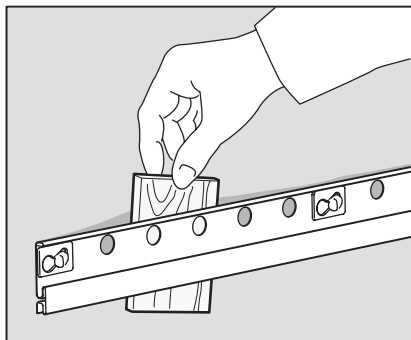
サスペンションレールを取り付ける

新しいIKEA キッチンシステムは、キャビネットを直接サスペンションレールに掛けられるので、設置と調整がより簡単にできます。サスペンションレールがまっすぐ水平になっているか確認すること、壁材に適したタイプのネジで固定することが大切です。

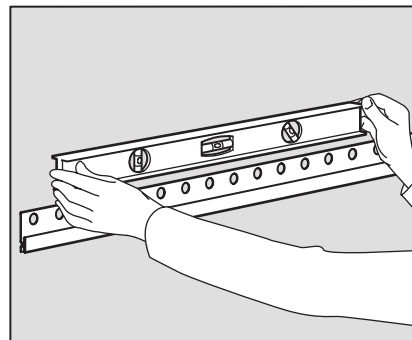
サスペンションレールを正しい高さに取り付けるため印をつける
サスペンションレールは、キャビネット上端から6cmの位置にレールの下端がくるように取り付けます。床のもっとも高い地点からベースキャビネット用のサスペンションレールの下端までは脚の高さにより異なり、3cm脚の場合は77cm、8cm脚の場合は82cmあけて取り付けます。ウォールキャビネット用のサスペンションレールを取り付ける位置を測るときは、ウォールキャビネットの下端からワークトップの上端までの間隔を考慮して計算してください。



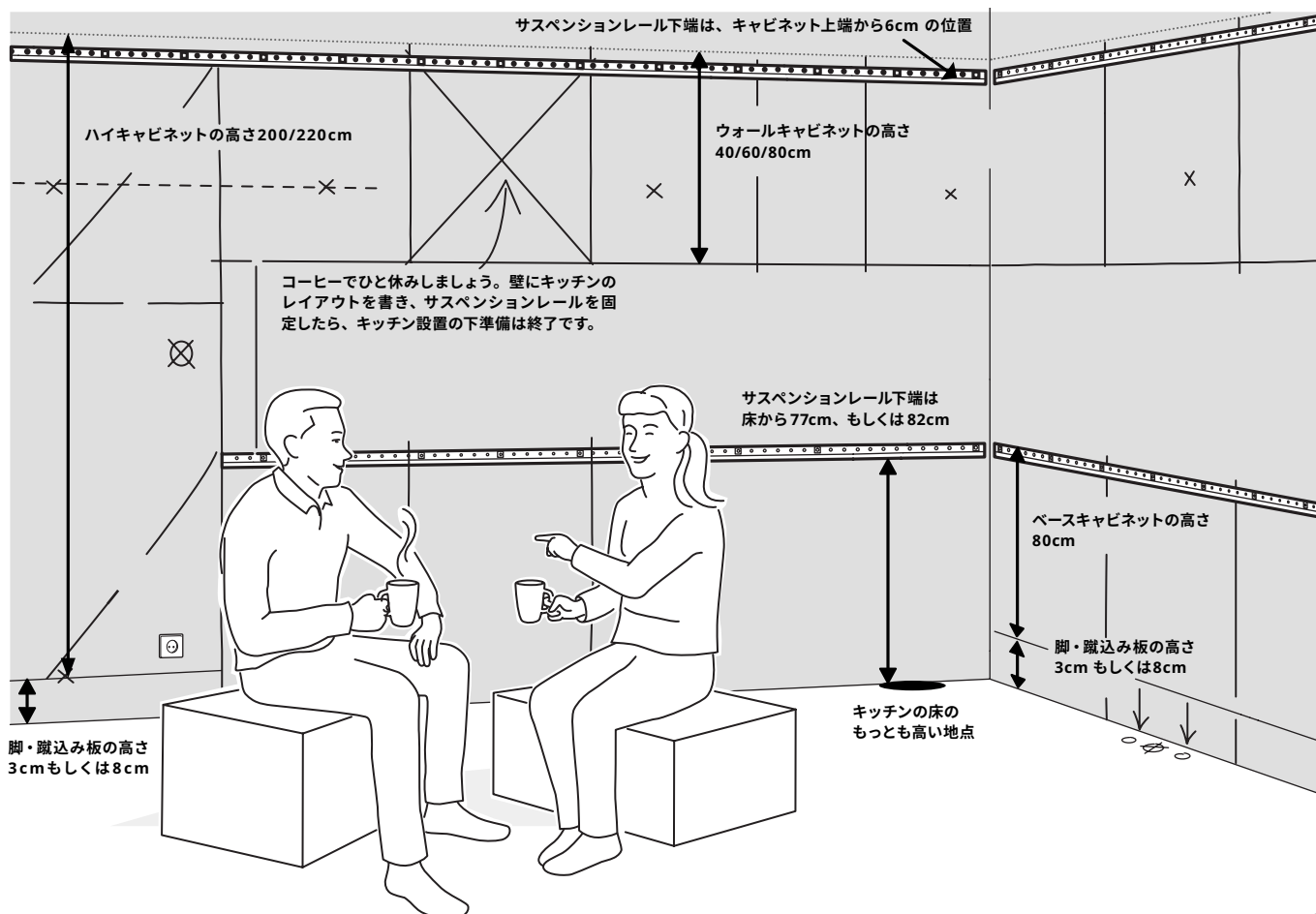
まずベースキャビネットのほうから、サスペンションレールを固定していきます。サスペンションレールを固定するのに適した下地（間柱や支持梁）の位置を見つけ、サスペンションレールが水平なことを確認してから、ドリルで穴をあけてください。



壁が平らでない場合は、サスペンションレールと壁の隙間をうまく埋めて、サスペンションレールがまっすぐになるようにしてください。



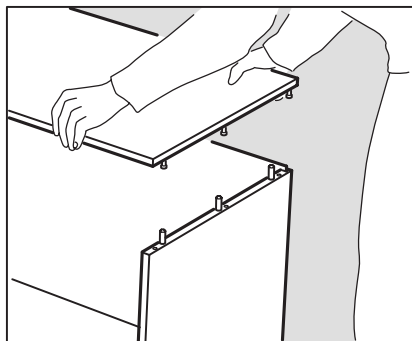
水準器を使って、取り付けたサスペンションレールが水平なことを確認します。



キャビネットを取り付ける

たいていのキッチンでは、最初にウォールキャビネットを設置する方法が最適です。この方法なら、ベースキャビネットにじゃまされずに移動できます。ただし、I型キッチンで一方の端にハイキャビネットを配置する場合は例外です。その場合は最初にハイキャビネットを設置します。

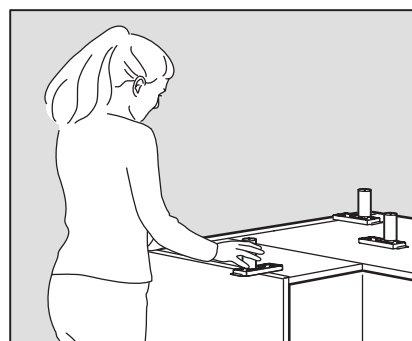
作業を始める前に、電気・ガス・水道などの配線・配管の位置にすべて印をつけます。キャビネットは必要に応じてジグソーを使って自分で配線、配管用の開口部をつくります。この作業はキャビネットを設置する前に行います。開口部の位置はキャビネットの引き出しの配置に影響する可能性があるため、注意してください。



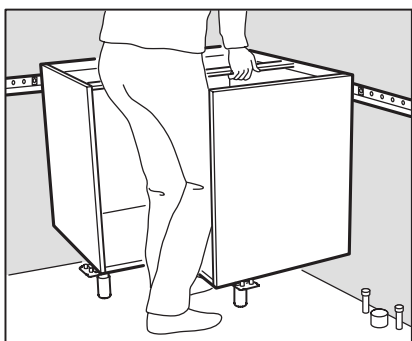
組み立て説明書に従ってウォールキャビネットのフレームをすべて組み立てます。引き出し、扉、収納アクセサリの取り付けはあとで行います。ウォールキャビネット用の水切りを設置する場合はこの段階で取り付けます。



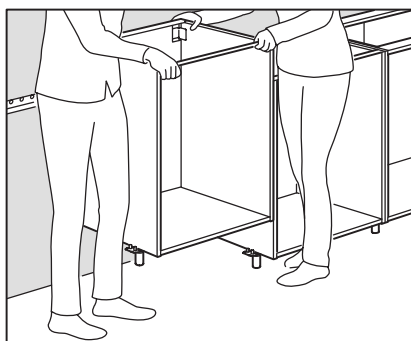
最初にコーナーキャビネットを取り付け、ネジを締めて固定します。残りのキャビネットを取り付け、付属のネジでキャビネット同士を連結します。ただしネジはまだ締めません。ベースキャビネットを設置後、まっすぐ設置できていることを確認してからネジを締めます。



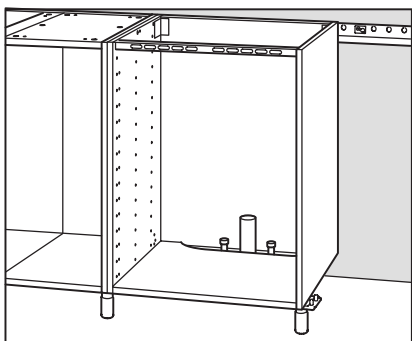
組み立て説明書に従ってベースキャビネットをすべて組み立てます。キャビネットを取り付ける順に、脚が付属していることを確認します。



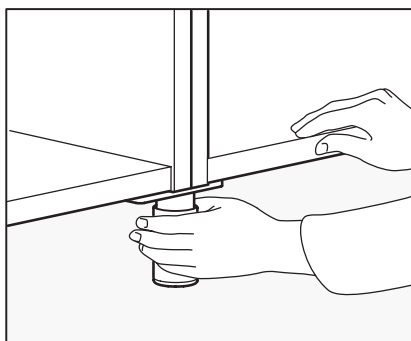
最初にコーナーのベースキャビネットを取り付けます。その横にベースキャビネットを1台ずつ取り付けていきます。回転式シェルフを設置する場合は、この段階で取り付けます。



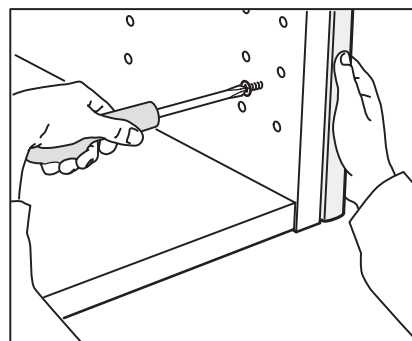
順番にベースキャビネットを取り付けネジを締めて固定します。付属のネジで隣り合うキャビネットを連結します。脚に付属のディスタンスリングを忘れずに使用してください。



配管位置には必ず配管用の開口部を設けてからベースキャビネットを取り付けてください。



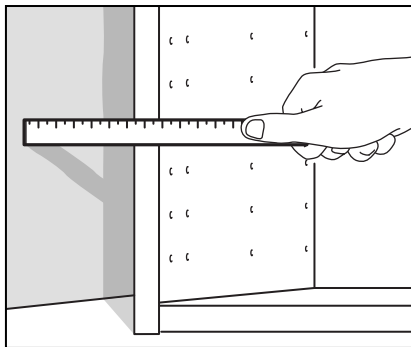
脚の高さを調節して、キャビネットの高さを先に取り付けしたキャビネットにそろえます。



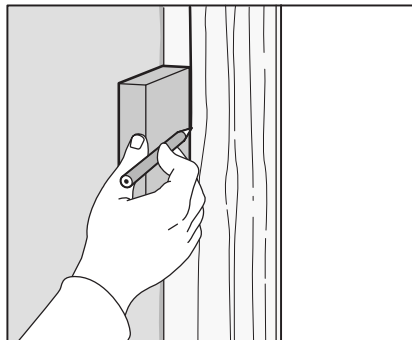
ハイキャビネットがある場合は、まずカバーパネルを取り付けます。

フィラーについて

フィラーは、キャビネットと壁の間に設置して、すっきりした外観をつくり、扉や引き出しを完全に開閉できるようスペースを確保するためのものです。壁が完全にはまっすぐでない場合は特に役立ちます。



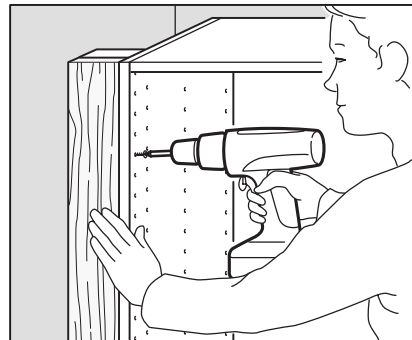
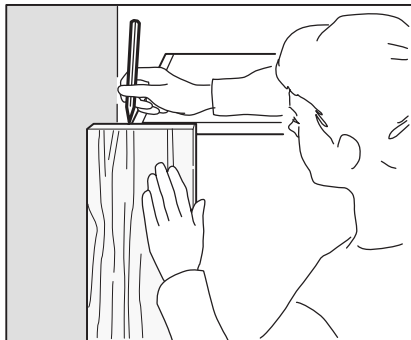
水準器で壁がまっすぐかどうか確認します。壁が平らな場合は、壁とキャビネットの間隔を測り、フィラーの上端と下端にその長さの印をつけます。



壁が平らでない場合は、フィラーを壁の形に合わせてカットしなければなりません。この作業には、フィラー、巻尺、厚さ2.5～3.5cmほどの木片、鉛筆が必要です。

フィラーをキャビネットの高さと同じ長さにカットします。フィラーの縁を壁に当てます。木片を壁にぴったりつけ、木片の端に鉛筆を当てます。壁に押しつけたまま木片と鉛筆を下にすべらせていき、フィラーの上端から下端まで線を引きします。これで壁の形をフィラーにトレースできます。トレースした線に合わせてフィラーをカットします。

フィラーの切断面を壁に当てます（ぴったり合うはずです）。フィラーの上端と下端にキャビネットの端の印をつけます。この2点を結ぶ直線を引き、線に合わせてカットします。



フィラーを正しい位置に取り付けるため、まずサポートストリップを壁にとめます。キャビネットにネジ用の穴をあけます。キャビネットとフィラーはこの穴を使って一緒に固定します。フィラーを設置位置に合わせます。穴にネジを通します。フィラーを全部取り付け終わったら、フィラーの周囲をシリコンでコーキングして気密性を確保します。

ハイキャビネットを設置する場合は、最終調整をしたり、ネジを完全に締めたりするのは、他のキャビネットをすべて設置し終わってから行ってください。

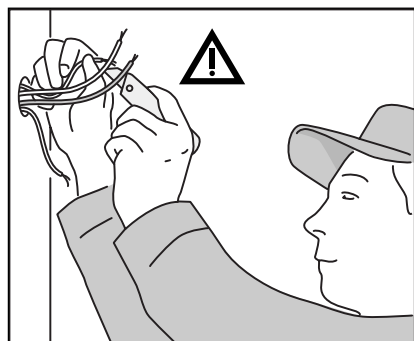
お役立ち情報

アイランドキッチンを設置する場合は、UTBY/ウートビー脚を使うか、METHOD/メトードサポートブラケットアイランドキッチン用を使って、必ず床に固定しなければなりません。アイランドキッチンを床に固定する際には、床暖房や配管などの設備が設置されていないことを確認してください。

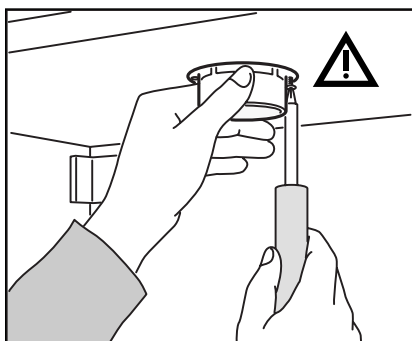
ワークトップ、シンク、照明、 設備機器を取り付ける

キャビネットフレームの取り付けが終わったら、ワークトップ、シンク、照明、設備機器を設置していきます。ワークトップを取り付ける前に、サイズが正しいか確認します。シンクやコンロに合わせてワークトップをカスタマイズする必要がある場合も、この段階で作業を行います（製品に付属の組み立て説明書を参照してください）。

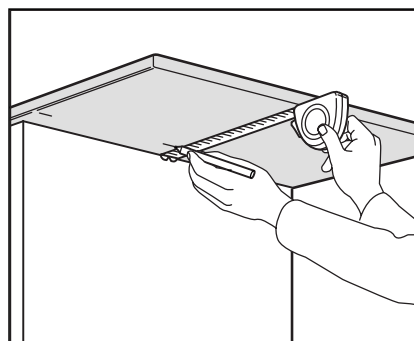
ワークトップを設置したら、水道・ガス、照明、設備機器を取り付けます。水道・ガス・電気関係の取り付けは、資格をもつ専門業者が地域の法的な安全規制に従って行わなければなりません。



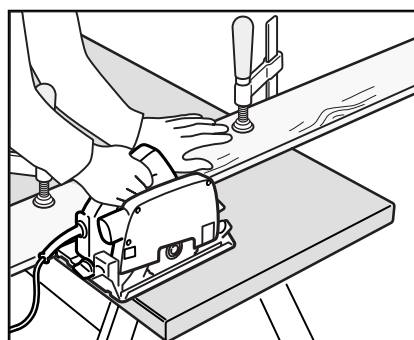
電気関係の取り付けは、資格をもつ専門業者が行わなければなりません。



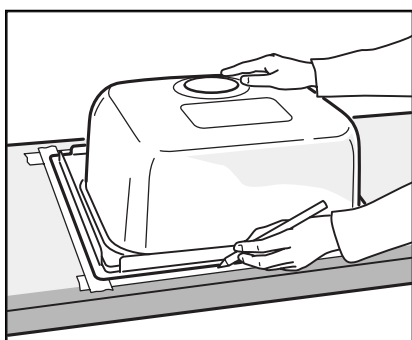
照明と設備機器を取り付けます。



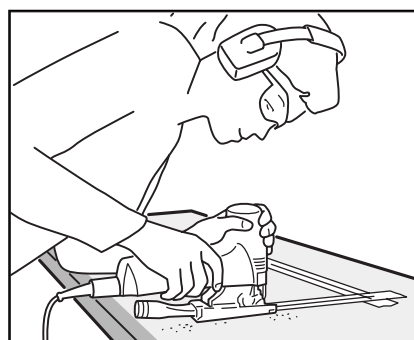
ワークトップの寸法を確認します。プレカットワークトップの場合は、ここで適切な長さにカットします。



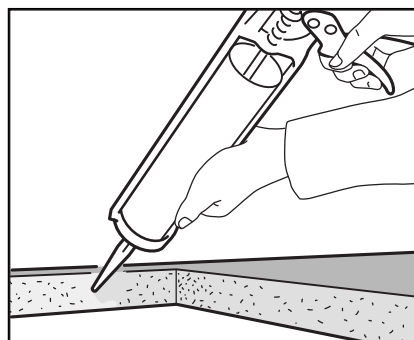
プレカットワークトップを適切なサイズにカットする際は、電動丸ノコとGクランプを使ってまっすぐ切断します。木挽き台を2脚置き、その上にワークトップを渡して作業すると、まっすぐ切れます。



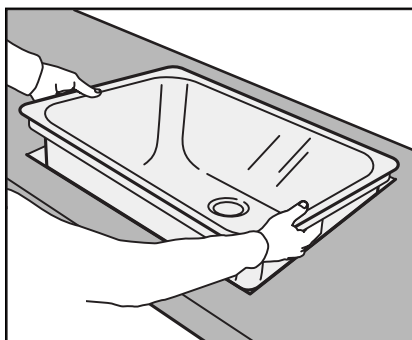
設置場所にワークトップを置き、シンクの位置に印をつけます。まずワークトップの裏面にベースキャビネットの内側をトレースします。これでシンクの位置を合わせやすくなります。ワークトップを裏返し、シンクの形をマスキングテープの上にトレースします。



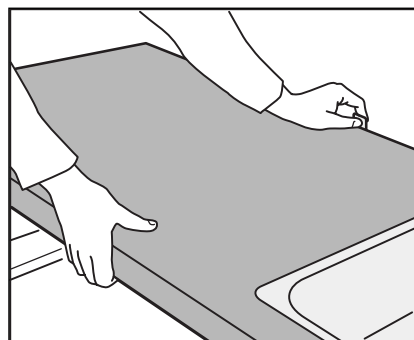
ジグソーでシンク用の穴をカットします。シンクのトレース線の内側四隅にドリルで穴をあけてからカットすると、きれいにカットできます。



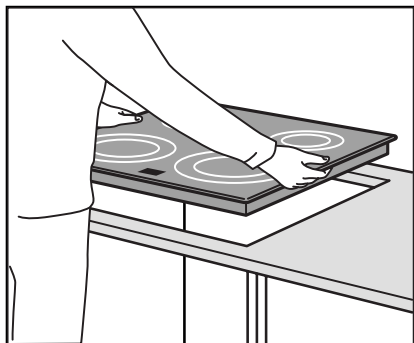
ワークトップに水分が染み込まないよう、ワークトップの切断面に市販のシリコンコークを塗布してください。



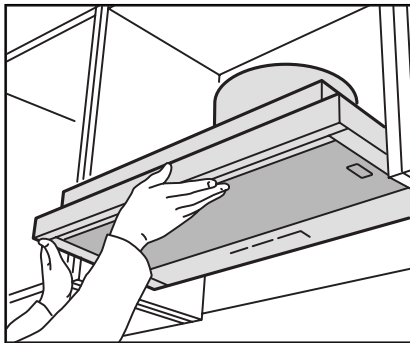
組み立て説明書に従ってシンクを取り付けます。



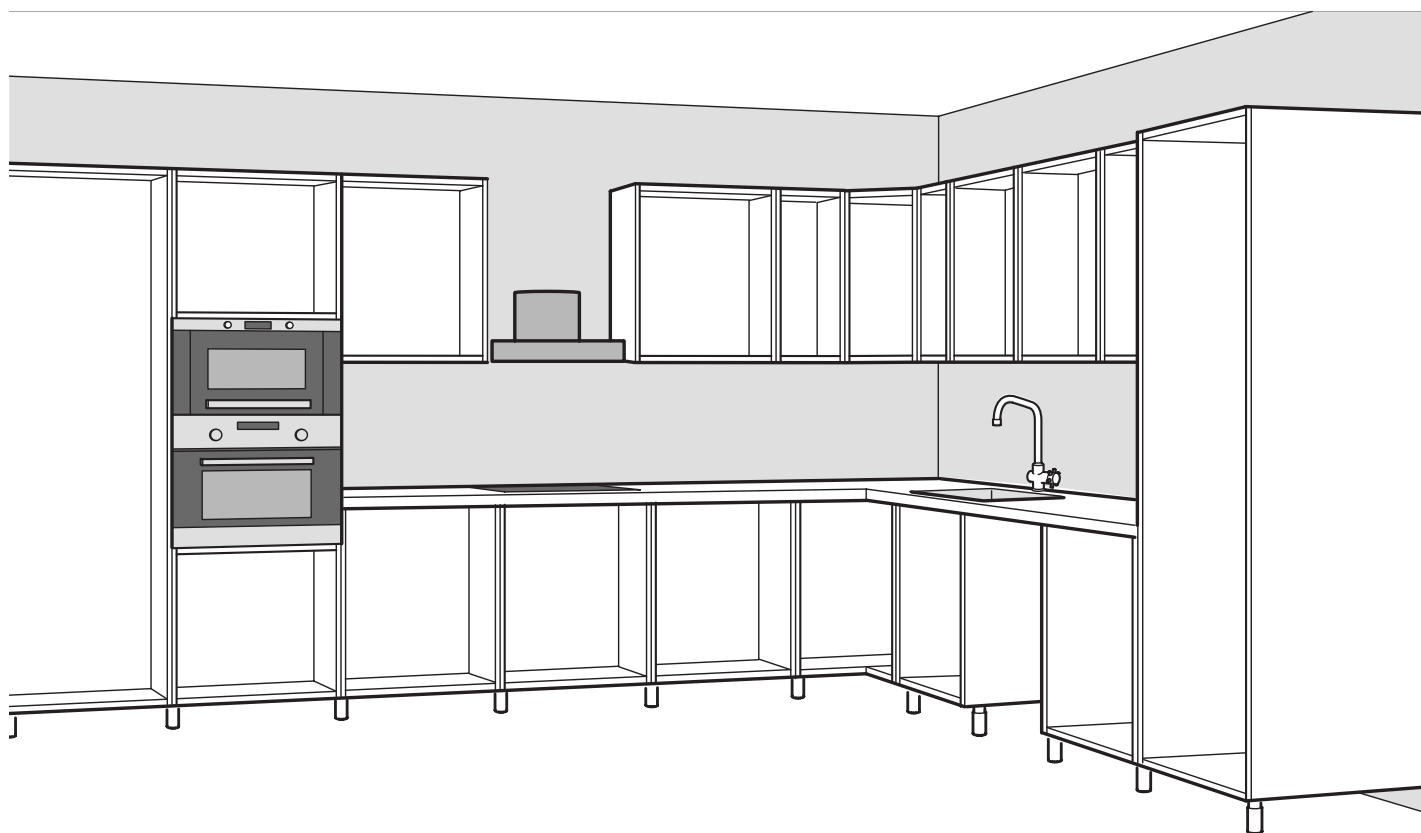
組み立て説明書に従ってワークトップを固定します。



ワークトップにコンロ用の穴をあける場合も、シンクと同じ方法で作業します。コンロの組み立て説明書を参照してください。



レンジフードを取り付けます。製品に付属の組み立て説明書を参照してください。安全性と機能性を確保するため、レンジフードに付属の組み立て説明書に記載された正確な寸法に従って設置してください。



サポートブラケットでアイランドキッチンに床に固定します。そのあとでアイランドキッチンの外周に脚か蹴込み板を必ず取り付けなければなりません。

アイランドキッチン用の組み立てキットでキャビネットの背面同士を連結するか、キャビネットの背面にカバーパネルを取り付けます。

お役立ち情報

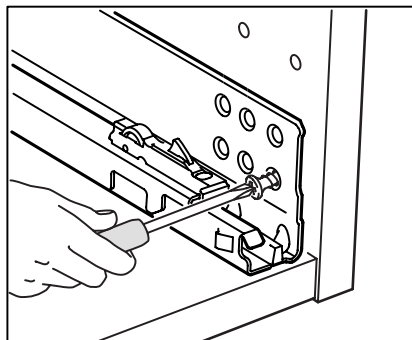
ワークトップの下に食器洗い乾燥機を設置する場合は、ワークトップの裏面に防湿加工を施し、水や蒸気に対応できるようにすることが重要です。イケアで取り扱っている幅60cmの食器洗い機には、保護ストリップが付属しています。その他の設備機器の場合は、防湿板や保護シートなどを貼ると、耐湿性・耐熱性が高まります。



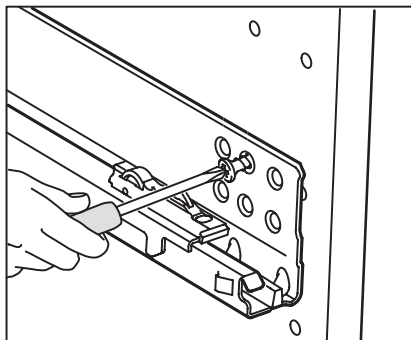
棚板、引き出し、扉、ノブ、取っ手を取り付ける

キャビネットフレーム、ワークトップ、設備機器の設置が済んだら、キャビネットに引き出し用レールを取り付けます。内側用の引き出しと普通の引き出しでは取り付け方が違うので注意しましょう（製品に付属の組み立て説明書を参照してください）。

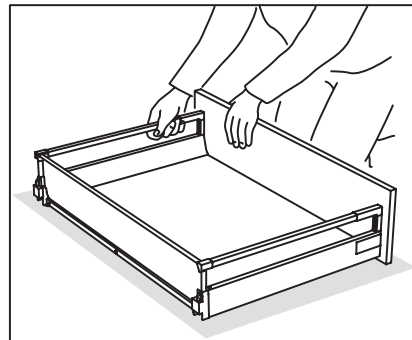
引き出し用レールの取り付けが終わったら、引き出しを取り付け、そのあとで扉と棚板を取り付けます。最後にノブや取っ手、収納アクセサリ（ワイヤーバスケットなど）を全部取り付けます。



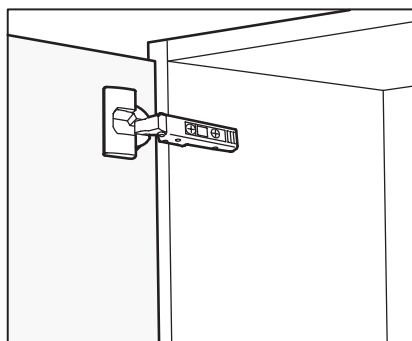
引き出し用レールを、外側の引き出しから取り付けていきます。外側の引き出し用レールは、一番手前の穴を使ってキャビネットに固定してください。



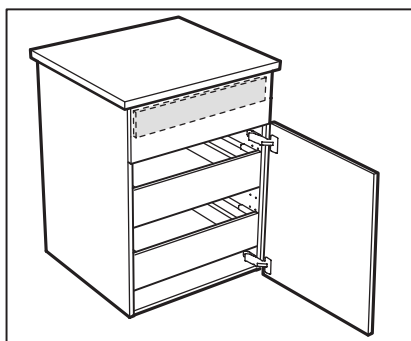
外側の引き出し用レールが終わったら、内側の引き出し用レールを取り付けていきます。内側の引き出し用レールは、手前から2番目の穴を使ってキャビネットに固定してください。



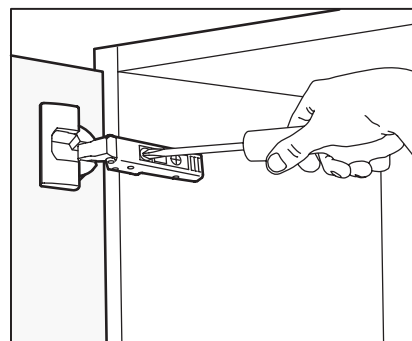
引き出しの組み立て説明書を参照しながら引き出しを組み立てます。



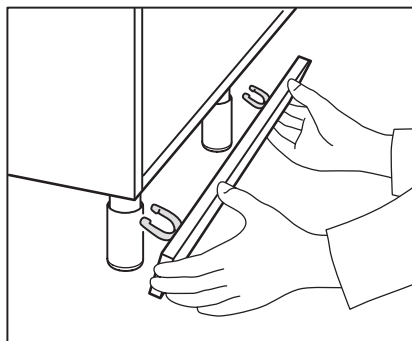
扉にヒンジを取り付けます。



キャビネットに引き出しと扉を取り付けます。



ヒンジのベースプレートのネジを調節して、扉の高さや幅をそろえます。



蹴込み板を設置する場合は、ここで取り付けます。組み立て説明書を参照しながら取り付けてください。

お疲れさまでした！ 新しいキッチンの完成です！

キャビネットのお手入れ

扉、キャビネットの収納アクセサリ、木製の表面は、湿らせた柔らかい布で拭いてください。必ず材質に合った清掃用品を使用してください。アンモニア、アルコール、漂白剤、研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。洗剤成分は水拭きでしっかり取り除いてから、きれいな布で拭きしてください。液体をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。

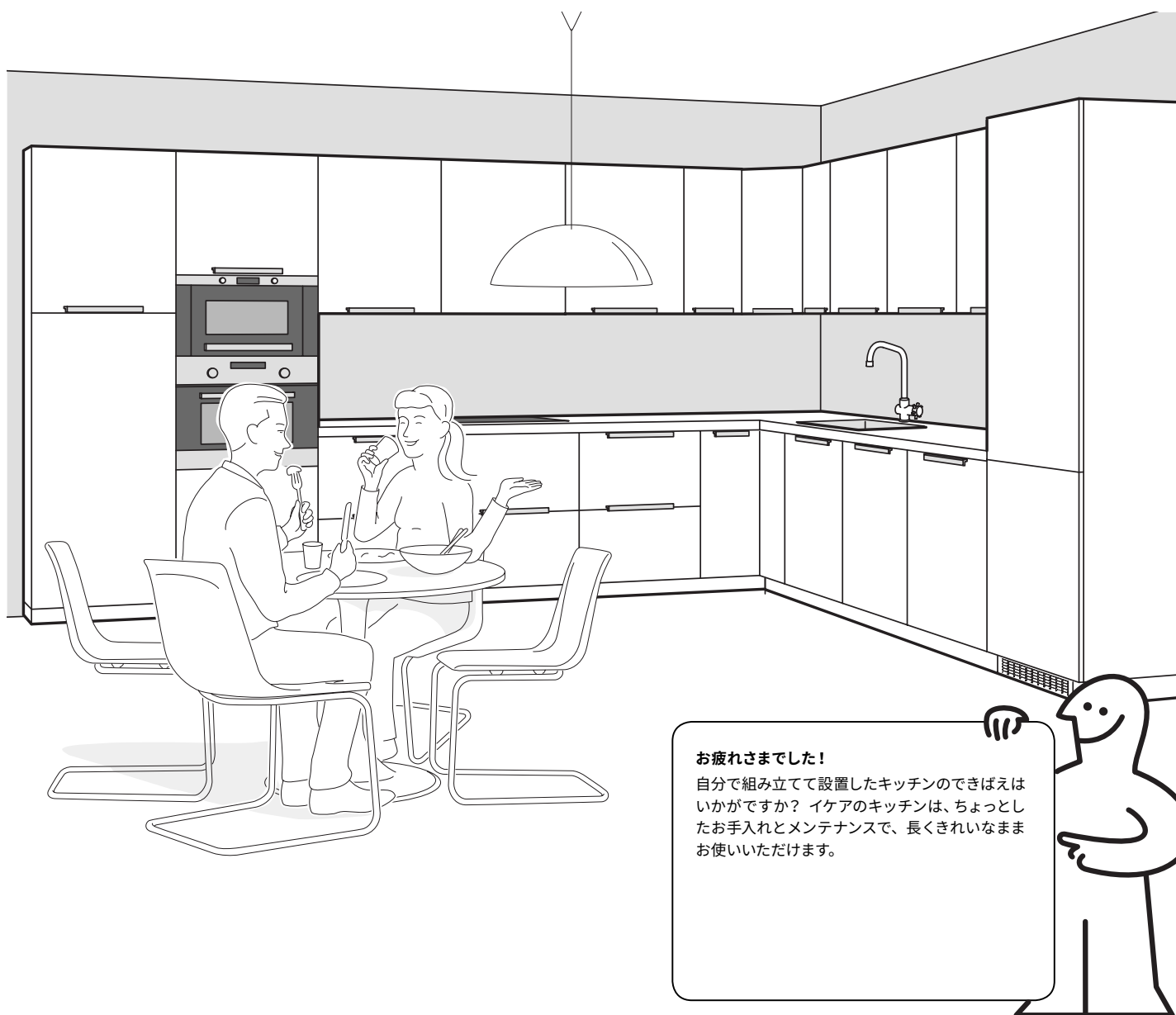
シンクの輝きを保つには

使用後は、水で濡らした布やスポンジで汚れを拭きとり、必要に応じて研磨剤不使用の洗剤で汚れを落としてください。シンクの内側を水ですすぎ、シンク全体を乾いた布で拭きしてください。研磨剤やスチールウール、硬いものは、ステンレスの表面を傷つけるおそれがあるので使わないでくだ

さい。濡れたシンクの上に、鉄分を含むもの（スチールウールや釘、砂など）を放置すると、変色やサビのおそれがあります。

ワークトップを長持ちさせるには

ワークトップを最高の状態で維持するため、汚れは水と中性洗剤ですぐに落としてください。使用後はなるべく乾燥した状態を保ってください。木製ワークトップと無垢材製ワークトップには、BEHANDLA/ベハンドラ 木製品用トリートメントオイルを塗布してください。ワークトップをシミや汚れ、ひび割れから守り、水が染み込むのを防ぎます。



お疲れさまでした！

自分で組み立てて設置したキッチンのできればはいかがですか？ イケアのキッチンは、ちょっとしたお手入れとメンテナンスで、長くきれいなままお使いいただけます。

イケアの便利なサービス

料金やご利用方法など詳しくは、www.IKEA.jp/services をご覧ください。



キッチンプランニングサービス

イケアのキッチン専任スタッフが、マンツーマンでお客様の理想のキッチンプラン作成からご購入までをお手伝いいたします。（予約制）

イケアストアでのプランニング

イケアストア内で、キッチン専任スタッフと一緒に実際の商品を見ながらキッチンのプランニングを行います。

リモートキッチンプランニング

イケアストアが近くにない、店舗まで行く時間がない、というお客様のために、キッチン専任スタッフが、電話やオンラインツールを使用してお客様のご要望を伺い、ゼロからキッチンプランを作成し、ご提案いたします。

リモートキッチンプランニングアシスタンス

スタッフとのプラン完成後、電話やオンラインツールを使用して、プランの変更やご注文、お支払い、配送サービスや施工サービスのお申し込みまでをサポートします。



キッチン施工サービス

イケア認定のキッチン施工業者が、キッチンの組み立てや施工を行います。配線、ガス・水道の配管のほか、壁、床などのリフォーム全般も承ります。

作業内容：

- ・ 施工場所の現地確認
- ・ キッチンの組み立て・設置
- ・ イケアで購入した設備機器、水栓、照明の取り付け
- ・ 周辺アクセサリ（キャビネット内・壁面）の取り付け
- ・ 基本の給排水・ガス・電気接続工事

キッチン訪問測量サービス

キッチンのプランに入る前にご自宅を訪問し、設置場所の寸法、必要となる配管・配線の位置の確認を行いレイアウト図を作成します。また、壁の強度のチェックなど、プロの目で責任を持って確かめます。

家具組み立てサービス

ほとんどのイケア製品はお客様ご自身で組み立てられるようデザインされていますが、ご希望のお客様には、家具組み立てサービスをご用意しています。



配送サービス / 小物配送サービス

イケアストアでも、IKEA オンラインストアでも、どんなにたくさん買っても、どんなに重くなくても、ご購入いただいた商品をイケアがご自宅までお届けします。



ショッピングクレジット（分割払い）

IKEA キッチン 5 万円以上のご購入で JACCS の分割払いをご利用いただけます。